参考資料

201303

タンク用

マルチ洗浄ハンドル PK-TF-10A TF-10A

●このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

⚠注意	●この施行説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ●施工後は必ず試運転を行ってください。

安全のために守ってください！

洗浄ハンドルを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。	❗指示実行	「指示通りしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注意

止水栓を閉じた状態で施工を行ってください。また、取付後に止水栓の調整を必ず行ってください。
※漏水により家財等をぬらす恐れがあります。 ❗

施工後の作動確認を必ず行ってください。
※正しく施工されていないと、洗浄不良・止水不良の原因になります。 ❗

取付対応タンク・ハンドル

■TF-10Aが取付可能なタンク品番

アメージュシリーズ・他		カスカディーナ	一般密結タイプ他	一般隅付タイプ	一般平付タイプ	TOTO品
BC-650S/BC-680S	DT-4520(H)	(B)C-1580(S,P)	T-115(L,R)/T-118(L,R)	T-170	(D)T-121(L,R)	S730,731系
BC-850S/BC-880S	DT-4570	(B)C-1880(S,P)	T-152(L,R)	T-171(L,R)	(D)T-421(L,R)	S516,517系
BC-851S/BC-881S	DT-4820(H)	BC-2580(SL,SR)	T-154(L,R)	T-172(L,R)	(D)T-520	SS590B,591B系
DC-650S/DC-680S	DT-4870	BC-2880(SL,SR)	DT-218(L,R)	DT-271	(D)T-820(Z)	S710系,S721系
DC-850(S,P)/DC-880(S,P)	DT-5LN	BC -3580S/BC -3880S	(D)T-418(L,R)	T-371(L,R)	DT-520(XU,XY,XZ,KXU,KXZ)	S570系,S670系,
DC-851S/DC-881S	DT-650S	HBC-3580SN	T-452(L,R)	(D)T-470	DT-820(XU,XY,XZ)	S536B系
DT -1510(S,P)/DT -1810(S,P)	DT-680S	HBC-3880SN	T-454(L,R)	T-471(L,R)	T-101	
DT -1520(S,P)/DT -1820(S,P)	DT -B150(GU,X,XU)	(D)C -1280(PL,PR,SL,SR)	DT-800	T-472	T-111	※以下のタンクの場合、別途オプション部材（A-5544）が必要です。
DT-1521S/DT-1821S	DT -B180(GU,X,XU)	(D)C -1480(PL,PR,SL,SR)	(D)T -510(U,X,XU,XUP)	(D)T-570	T-154	SH30系,SS30系
DT -2510(H)/DT -2810(H)	DT-C150U	DC-1580(S,P)	(D)T -810(U,Z,X,XU,UZ,XUP)	(D)T-870(Z)	T-321(L,R)	SH90系,SS90系
DT-2520/DT-2820	DT-C180U	DC-1880(S,P)	(D)T-511	DT-570(XR,XU,XY,XZ)	DT-523	SH680系,SS680系
DT-2521/DT-2821	DT-LN	DC-2280(SL,SR)	(D)T-811(Z)	DT-870(XR,XU,XY,XZ)	T-526	SH670系,SS670系
DT-3500/DT-3800	DT -V150(H,HU,MU,U)	DC-2480(SL,SR)	DT-583	DT-571XU	T-527	SS430系,S790系,
DT -3510(H,HU)/DT -3810(H,HU)	DT -V180(H,HU,MU,U)	DC -2580S/DC -2880S	DT-883	DT-871XU		S770系
DT -3520(H,U)/DT -3820(H,U)	DT-K150	DC-3580(S,P)	シャワートイレM1/M2	(D)T-573		
DT-3540/DT-3840	(G)DT-K180	DC-3880(S,P)	コンティス	(D)T-873(Z)		
DT-3550/DT-3850		DC -4580S/DC -4880S	SC -10/SC -20/SC -30	T-576		
DT-3560/DT-3860			C-83(S,P)	T-876(Z)		
DT-3570/DT-3870						

※上記品番は代表品番です。寒冷地仕様（ヒーター便器、流動、水抜タンク）や、プロガード仕様などの各バリエーションにも対応可能です。
※TOTO品との組合せについては当社による検証結果です。（製造時期によっては取り付けられない場合も想定されます。）

■TF-10Aで代替可能な当社品ハンドル品番

TF-870AJ-M	TF-V180AL	TF-889AN	TF-885AN	TF-810AJL/色
TF-870A	TF-B180AL/色	TF-882A-1	TF-886A	TF-810AJN/色
TF-870AN	TF-V180ANL	TF-882AN-1	TF-886AN	TF-814AJ-M
TF-870AJN-M	TF-2820A	TF-882A/色	TF-868A	TF-814AJN-M
TF-876AJ-M	TF-2820AL	TF-882AN/色	TF-868AN	TF-814A
TF-876AJN-M	TF-2820AN	CF-481A シン	TF-868AP/色	TF-814AN
TF-876A	TF-2810A/色	CF-481AN	TF-868ANP/色	TF-814AJ/色
TF-876AN	TF-2810AL/色	TF-881A	TF-810AJ-M	TF-814AJN/色
PK-TF-870AJ-M	TF-2810AN/色	TF-881AL	TF-810AJN-M	CF-117A
TF-V180A	TF-2810ANL/色	TF-881AN	TF-810A	PK-TF-810AJ-M
TF-B180A/色	TF-1810A/色	TF-869A	TF-810AL	PK-TF-814AJ-M
TF-K180A	TF-41810AN/色	TF-869AN	TF-810AN	DTF-814A
TF-V180AN	TF-889A	TF-885A	TF-810AJ/色	

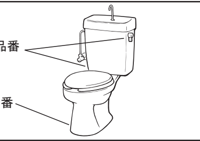
■TF-10Aが取り付けできない便器・タンク

シャワートイレ一体型便器（シャワートイレM1/M2は除く）　ワンピース便器　ハンドルがタンクのフタの上にある。　74年10月～78年10月発売の旧カスカディーナ（洗浄ハンドルが球状のタイプ）

※トイレーナF、トイレーナR、収納一体型便器には取付けできません。

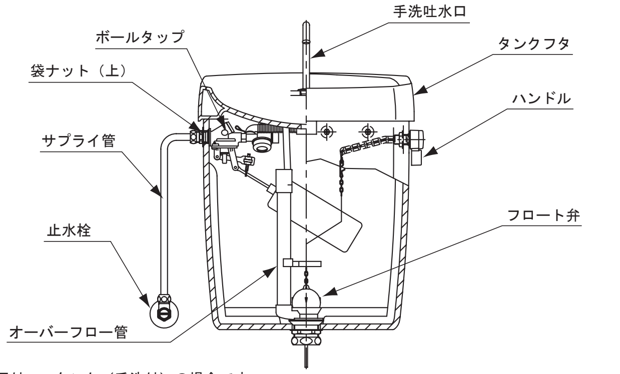
※タンク品番の確認

タンク品番は、タンク正面、もしくは左側面に付いています。



各部のなまえ

●タンクセット（トイレタンクの例）



※図は平付ロータンク（手洗付）の場合です。

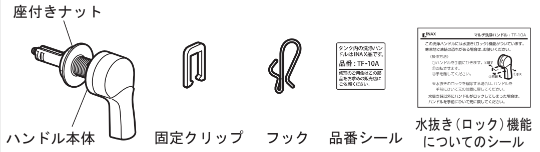
部品の確認

⚠注意

ご使用のタンクの種類によって、
使用する部品と使用方法が異なります！
必ずこの説明書を読んで確認してください！
※延長アタッチメント は、外れにくい構造のため、誤組付に注意!!

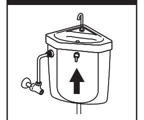
※タイプは 1 頁で確認します

共通

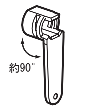


施工説明書

Aタイプ

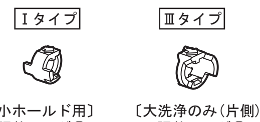


正面中央ハンドル



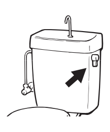
レバーA

（Ⅱタイプは調整リングを使用しません。）

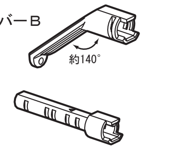


〔小ホールド用〕調整リング①：黒色　〔大洗浄のみ（片側）〕調整リング②：赤色

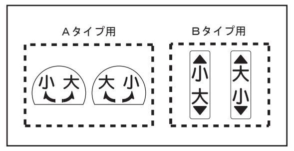
Bタイプ



横ハンドル（右側または左側）

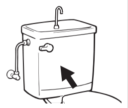


延長アタッチメント（使用しない場合があります）
取付けると外れにくい構造になっています。取付け前には必ずよくご確認ください。

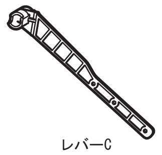


大小表示シール

Cタイプ



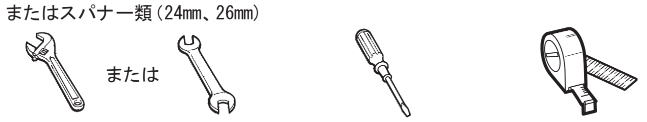
正面左（右）ハンドル



レバーC

準備工具

モンキーレンチ（26㎜まで、調整可のもの）
またはスパナー類（24㎜、26㎜）



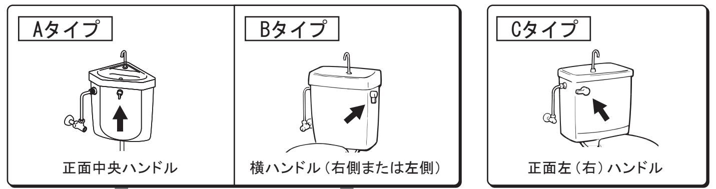
24㎜以上　または　24㎜、26㎜　マイナスドライバー　メジャー又は定規

施工方法

1 ハンドル取付け位置と動き確認

(1) ご使用のハンドル位置の確認

ご使用のタンクの洗浄ハンドルの位置を確認してください。

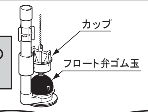


2 へ進んでください。

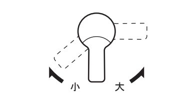
(2) ご使用のハンドルの動き方の確認

ご使用のタンクのハンドル動きを確認してください。（TOTO品の場合、回転方向が逆になります）

ハンドル大小表示の有無
- あり → フロート弁ゴム玉の上のカップ有無
  - なし → Ⅰタイプ
  - あり → Ⅱタイプ
- なし → ハンドルの動き
  - 両側 → Ⅱタイプ
  - 片側 → Ⅲタイプ

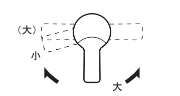


Ⅰタイプ　小洗浄は大洗浄の半分だけ回転



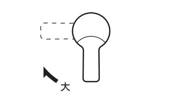
小ホールド
小洗浄の場合、ハンドルを持っている間だけ水が流れます。

Ⅱタイプ　両側に大きく回転



W節水 または 大洗浄（両側）
大小共に、ハンドルを離しても一定の時間、水が流れます。

Ⅲタイプ　片側のみ回転



大洗浄のみ（片側）

ここで特定したタンクタイプは覚えておいてください。

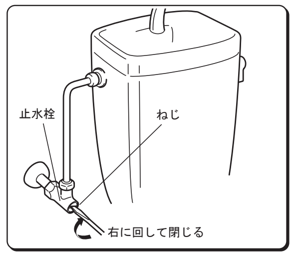
右の空欄にタイプを記入してください。

(1) ハンドル位置 □ ― (2) ハンドル動き □ タイプ
（例えば:A―! タイプ等）

各タイプの部材を確認して 2 へ進んでください。

2 古いハンドルの取り外し【A・B・Cタイプ共通】

(1) 止水栓のねじをマイナスドライバーで右に回して、給水を止めます。
※止水栓はタンクの左、または右にあります。

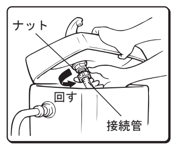


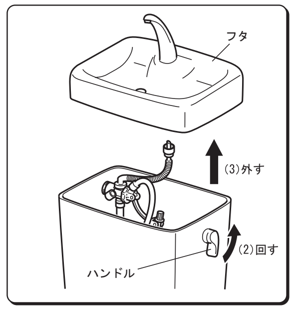
注意 このとき止水栓ねじの最初の位置を覚えておいてください。
（何回転させたかメモしておいてください。）
止水栓は適切な水量に調節されているので、作業後に元に戻す必要があります。

(2) タンクのハンドルを回して、タンク内の水を抜きます。

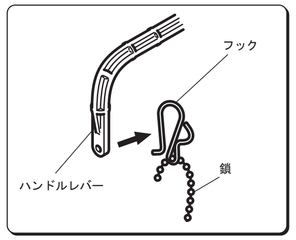
注意 このときボールタップから水が出ないことを確認してください。
（タンク内で水音しないこと）

(3) タンクフタを持ち上げて外し、安定した場所に置きます。
※タンクフタを少し持ち上げて、手洗接続管（白）がねじやクリップで接続されている場合は、ねじやクリップを外してタンクフタを外してください。

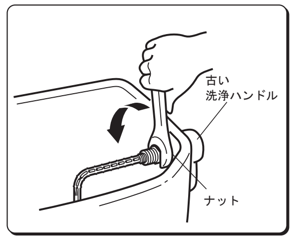




(4) ハンドルレバーからフックを外します。

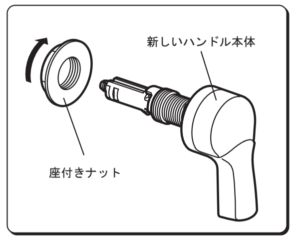


(5) ナットを外して、古い洗浄ハンドルをタンクから外します。
※取外したハンドルは、後ほど寸法測定する場合があります。

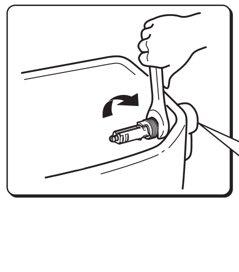


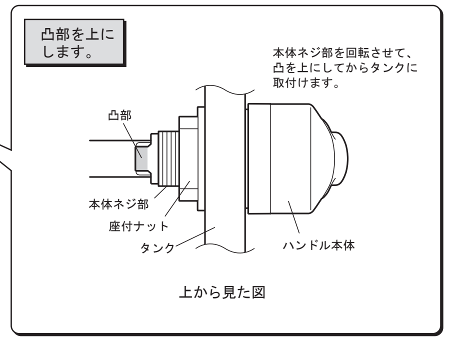
3 新しい洗浄ハンドル本体の取り付け【A・B・Cタイプ共通】

(1) 座付きナットを新しいハンドル本体から外します。



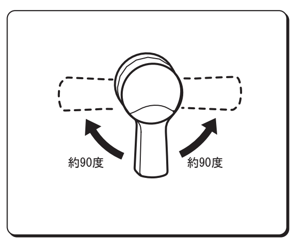
(2) 新しいハンドル本体を図のように、本体ネジ部の凸部を上にしてタンクに取り付け、座付きナットで締め付けます。





上から見た図

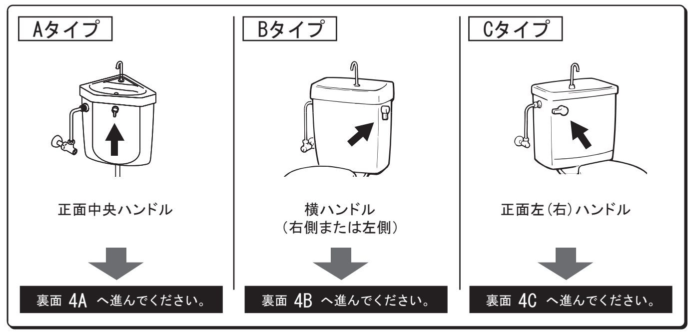
(3) 右図のように左右に約90度回転するかを必ず確認します。
違う動きになる場合は、本体部の取付けが間違っていますので、(2)をやり直して下さい。



注意 ここで動作確認しないと、後の作業に影響が出る場合があります。

4 レバーの取付け

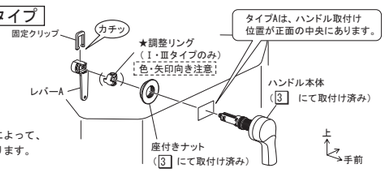
各ハンドル取付け位置タイプごとに指定の頁へ進んでください。



裏面 4A へ進んでください。　裏面 4B へ進んでください。　裏面 4C へ進んでください。

4A レバーの取付け［Aタイプの場合］

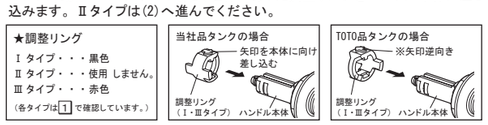
●取付けイメージ Aタイプ



★印：ハンドル動作タイプによって、使用する部品が異なります。

●部材の取付け

（1）ハンドル動作Ⅰ・Ⅲタイプの場合、仕様にあった調整リングをハンドル本体に差し込みます。Ⅱタイプは(2)へ進んでください。



※TOTO品の場合、調整リング矢印を逆向きに差し込みます。

（2）レバーAと固定クリップを取付けます。※確実に固定したことを確認してください。

①レバーAを差込みます。　②固定クリップを差込みます。　取付け済み状態

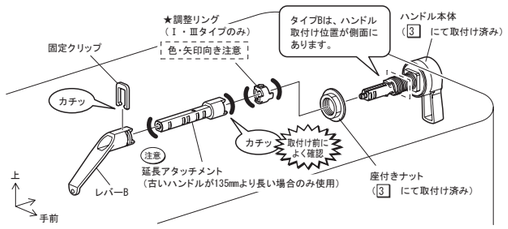
●ハンドル動作の確認・部材取付け状態の確認

（3）ハンドルが、タイプ通りの動きをするか確認してください（1 －（2）参照）。違う場合は下図を参考にして取付け直してください。

5 へ進んでください。

4B レバーの取付け［Bタイプの場合］

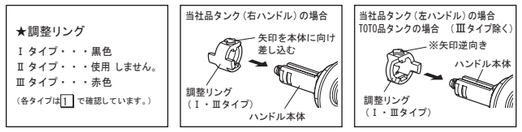
●取付けイメージ Bタイプ



★印：ハンドル動作タイプによって、使用する部品が異なります。

●部材の取付け

（1）ハンドル動作Ⅰ・Ⅲタイプの場合、仕様にあった調整リングをハンドル本体に差し込みます。Ⅱタイプは(2)へ進んでください。



※ハンドルがタンクに向かって左側についている場合や、TOTO品タンク（ Ⅲタイプ除く）の場合は、矢印の向きと逆に差し込みます。

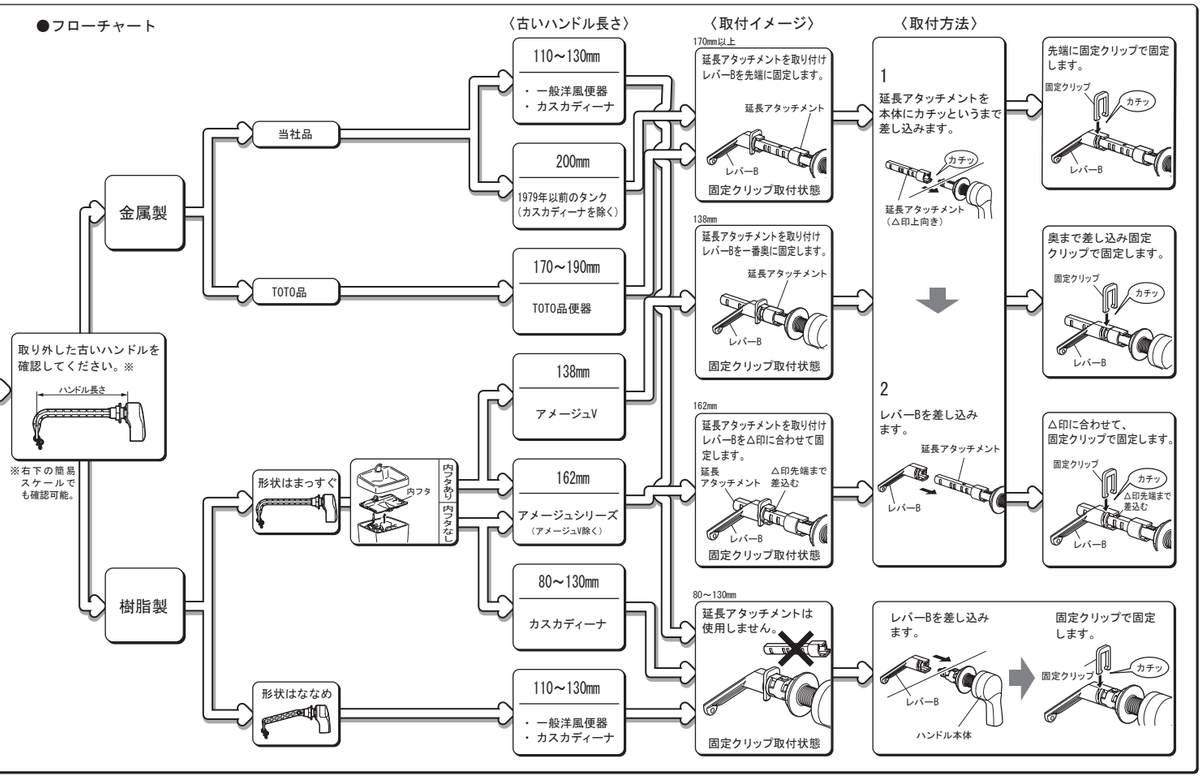
（2）右のフローチャートに従ってレバーを取付けてください。

取付け前によく確認

注意 延長アタッチメントは、よく確認してから取り付けてください。
※抜け防止のため、嵌合が固くなっています。誤って取り付けてしまった場合は、強く引張って取り外してください。

（3）ハンドルが、タイプ通りの（古いハンドルと同じ）動きをしているか確認してください。（1 －（2）参照）

●フローチャート

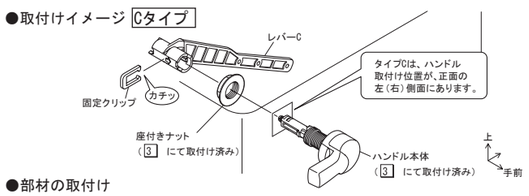


5 へ進んでください。

〈簡易スケール〉

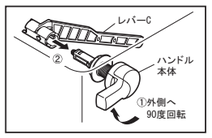
4C レバーの取付け［Cタイプの場合］

●取付けイメージ Cタイプ

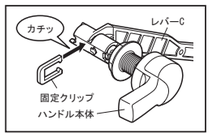


●部材の取付け

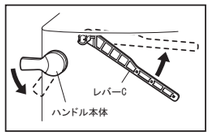
（1）レバーCを取付けます。
①ハンドル本体をタンク外側へ90°回転させながら、
②レバーCをハンドル本体に差し込みます。
（ハンドルがタンクに向かって正面右側にある場合、レバーCの差し込む向きは逆になります。）



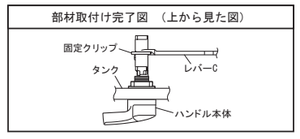
（2）固定クリップを差し込みます。
※確実に固定したことを確認してください。



（3）ハンドルが図のような動きになることを確認してください。



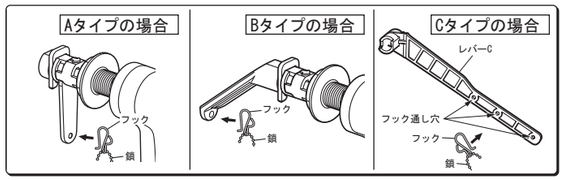
違う場合は部材取付け完了図を参照にして取付け直してください。



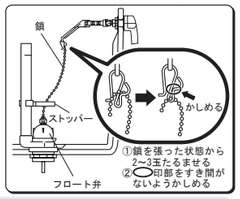
5 へ進んでください。

5 鎖のフックの取付け【A・B・Cタイプ共通】

（1）フックを鎖ごとハンドルレバーに取り付けます。
●必要に応じてフックは新しい物と交換してください。
●Cタイプの場合、古いハンドルの長さ付近にフックを通します。（右下図参照）



（2）ハンドルを回転させ、正常な動きかどうかを確認します。
●フロート弁が常に開いていたり、開かない場合は、次の通りに調整してください。
①鎖が張った状態（ハンドル操作無し）から、2～3玉位たるませるように鎖の長さを調節します。
②鎖を取り付けた後、右図◯印部にすき間がなく、鎖が抜けないことを確認してください。
※鎖が抜けると、止水不良の原因になります。

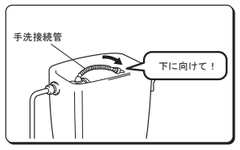


注意
●ストッパーがあるタイプは鎖をストッパー輪内に通して取付けてください。
●鎖の長さをきちんと調節してください。
※止水不良の原因になります。
●鎖をフックに取り付けるときは、奥までしっかりと取り付けてください。
※洗浄不良の原因になります。

6 通水

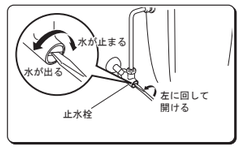
（1）手洗付の場合は、手洗接続管の出口をタンク内の下に向けます。

注意 手洗接続管の出口は必ずタンク内の下に向けてください。
※上に向いていると、タンクの外に水が飛び出す恐れがあります。



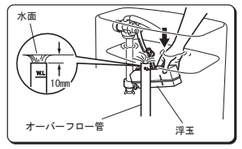
（2）止水栓のねじをドライバーで左に回してタンクへ通水します。

注意 止水栓ねじをメモしておいた元の位置にしてください。



※止水栓ねじの位置がわからなくなった場合は、ボールタップの浮玉を押し下げ、水を出しっ放しにしたときに、水面がオーバーフロー管より10mm以上上昇しない程度に止水栓で流量を調節します。

注意 10mm以上上昇する流量だと、万が一ボールタップが故障した場合、床に水があふれ恐れがあります。



7 タンクフタの取り付け

タンクフタを取り付けます。
※手洗付きの場合は、元の通りに接続管を取り付けてください。

注意 内フタで手洗付の場合は以下の要領で取り付けてください。

（1）内フタに接続管をはめ込みます。

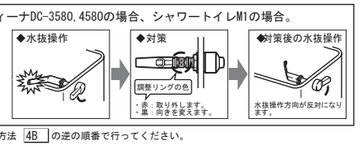
（2）内フタの四隅を押さえ、“パチン”と音がするまで内タンクにしっかりとはめ込みます。

8 取付後の確認

ハンドルを2～3度操作して、正常に作動するか、水漏れしないか確認してください。

※正常でない時
①部品の組合せが正しいか確認してください。
②ハンドルと内部金具（ホースなど）が干渉していないか確認してください。
③フロート弁の鎖の長さが適切か確認してください。

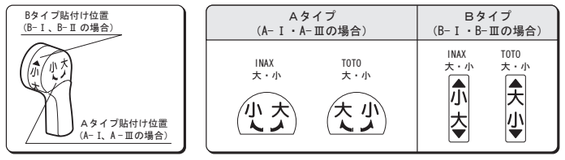
【ご注意ください】カスカディーナDC-3580, 4580の場合、シャワートイレM1の場合。
●水抜操作時に、レバー先端がタンクにあたる場合は、調整リングで操作方向を変更してください。



※取り外しは、B－Ⅲタイプ取り付け方法 4B の逆の順番で行ってください。

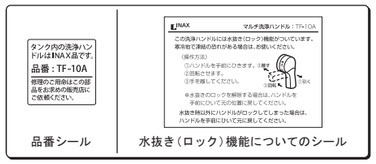
9 表示シールの貼付

同梱の大小表示シールから、古いハンドルと同じ方向表示のシールを貼ってください。（Cタイプと、A-Ⅲ、A-Ⅱの大洗浄（両側）、B-Ⅲは貼りません。）



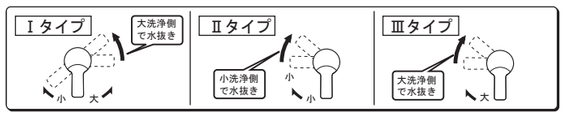
10 「品番シール」と「水抜き（ロック）機能についてのシール」の貼付

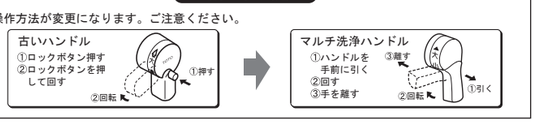
同梱の2つのシールをタンクのよく見える位置に貼ってください。



寒冷地水抜仕様タンクの場合

マルチ洗浄ハンドルは、水抜出来る構造となっております。寒冷地でお使いの場合（古いハンドルが水抜仕様の場合）、ハンドル取付け後に各タイプ別での水抜き操作を確認頂きます様お願いします。



TOTO品タンクの場合

操作方法が変更になります。ご注意ください。